庄原市立 Hiwa Museum For Natural History
比和自然科学博物館
INSECT だより
May 2025
令和7年 5月号
No. 10

「比和自然科学博物館だより」として、新情報や収蔵展示資料の紹介などをしていきます。紹介した展示資料が館内のどこにあるのか、探してみると楽しいですよ！

※展示標本と写真の個体は同じではない場合がありますので、ご了承ください。

今月の推し虫

和名:ムカシトンボ
学名:*Epiophlebia superstes*

トンボには，イトトンボなどのように前翅と後翅がほぼ同じ形で，腹部が細長い「均翅亜目」と，シオカラトンボやオニヤンマのように，後翅基部が前翅より幅広く，腹部が太い「不均翅亜目」に分けられます。系統的には，均翅亜目から不均翅亜目が分かれたと考えられていますが，ムカシトンボは，均翅亜目と不均翅亜目の両方の特徴を持っていて，均翅亜目から不均翅亜目が分かれたときの原始的な特徴を持つため「ムカシ」とつけられました。「生きた化石」とも言われます。

形態だけでなく，静止するときの翅も，均翅亜目は閉じるか半開き，不均翅亜目は広げて止まりますが，ムカシトンボは閉じるか半開きで止まり，均翅亜目的な止まり方をします。また，トンボの多くは腹部を下に大きく曲げることができますが，ムカシトンボは上に（背面側に）曲げることもできます。

4月下旬から5月にかけて，山間の渓流沿いを往復してパトロールする姿を見かけます。交尾後，雌は川岸の植物の茎に卵を産み付けます。幼虫は川の中で数年かかって（7年とも言われます）成長し，羽化の1ヶ月前には陸に上がって生活します。

普通は，林に囲まれた渓流で見られますが，比和自然科学博物館前の比和川でも幼虫が見つかっています。北海道から九州まで，広く見られますが，世界的には非常に珍しく，ヒマラヤ山脈周辺と中国北東部にそれぞれ1種がいるだけです。

【解説：秋山美文（比和自然科学博物館客員研究員）】

庄原市立 Hiwa Museum for Natural History
比和自然科学博物館
〒727-0301 広島県庄原市比和町比和1119-1
TEL:0824-85-3005　FAX:0824-85-3006
Email:soumu-hiw@city.shobara.lg.jp